

寄せられた意見

No. 58

受付日	H17. 7. 13	年齢	65歳	居住 市町村名	名寄市
件名	サンルダムの早期完成				

サンルダムの早期完成

平成17年 7月13日

意見者

氏名 [黒塗り] 年齢65才 性別 男、
住所 [黒塗り]
電話番号 [黒塗り]

安政4年、松浦武四郎が天塩川を探查したときは、河口も上流も自然のままの状態であったと記されています。

その後、長い歴史の中で、天塩川の流域では開拓が開始され、河川からの多くの恵みを受け、今日ある、農業地帯等、各流域市町村が発展してきたものと思います。

しかし、これまでには、原始河川がゆえに、年々にくりかえされる氾濫のために、河岸は決壊され洪水により、貴重な生命、財産が失われことが多く、その記録が残されて降ります。

本格的な掘削、築堤等治水事業が実施され、安全な基盤整備が推進されていますが、他の社会基盤に比べ治水の整備は著しく遅れていると思います。

近年の急激な都市化に伴う治水施設の充実を図り、次の目標達成のためにも、これまでにご苦労された多くの方々と共に一日も早いサンルダムの完成を願うものであります。

1、洪水調節

平成15年、日高、十勝管内に甚大な被害を及ぼした台風10号、記録的豪雨はまた、いつ襲って私達の生命、財産を奪うかも分かりません。

洪水の流量に耐えられる、河川断面の治水対策が、まだまだ確保できていない現状から洪水調節施設として調節のできるダム確保のため。

2、河川水の確保

天塩川では、これまでも農業用水の取水がストップされたことがあり、特に名寄川では、河川本来の機能を維持する正常流量の確保ができない(7、8月の渇水期)ことが多いのではと思います。

四国地方ではダムが枯渇、飲料水の節水制限の報道がされている、北海道では将来的にも安定した水源が確保されているのでしょうか、名寄川では新に水利を求める事業活動は不可能な現状です。

自然生態系をしっかりと保護し、新期に都市活用の需用にも対処すべく、長期的展望に立った余裕ある水資源確保のため。

※ [黒塗り] 箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています。